

せい ろう まち
せ 聖籠町
議会だより

VOL.
101
平成25年1月18日発行

楽しい楽しい
クリスマス会
(蓮湯こども園)



町政を問う

— 8人が一般質問 —

9 ~ 17 ページ

新春あいさつ・平成24年 活動の軌跡

2・3 ページ

12月議会主な質疑

4 ~ 7 ページ

12月定例会

平成24年第4回定例会は、12月9日から13日までの5日間の会期で開かれました。町長から行政報告があり、行政改革・事務事業評価並びに人事評価の取組状況や、防災計画の作業状況などについて説明がありました。

衆議院選挙執行に伴う一般会計補正予算の専決処分について承認し、議案審議では手数料条例の改正、一般会計補正予算など9議案を慎重に審議し、すべて原案通り可決しました。

また、固定資産評価審査委員の任命については全会一致で同意し、陳情1件について採択しました。

一般質問では、8議員が2日間にわたり、農業の振興や東港地区振興策、防災体制、教育などについて、町長、教育長に質しました。

今定例会から、より多くの町民に議会の活動を知ってもらうため、ラジオ放送を開始しました。ラジオ放送を聞いた町民からは、論議のようすがよくわかるとの感想が寄せられました。

手数料条例の改正

改正の目的
住民票や納税証明書、その他の証明交付手数料を、他市町村との均衡を図るため改正するもの。

③近隣市の体育施設の使用料金が統一されていないのに、手数料はあわせるのか。

主な質疑

料金比較したか

五十嵐利栄議員 ①不交付団体である湯沢町や刈羽村の手数料と比較したか。
②コスト比較の中の人件費の在り方は。聖籠町は職員数が多すぎないか。

料金比較した

総務課長 ①料金比較したところ、湯沢町の手数料は250円、刈羽村は200円で、聖籠町は値上げ後で200円。
町長 ②使用料にかかると人件費はそれぞれの自治体で行政の環境が異なるため、単純比較はできない。

審議会等へはからないのか

渡辺利道議員 料金値上げには料金審議会などへは諮問し、答申に基づいて行っているかどうか。

諮問しない

町長 手数料の改正については、審議会などへの諮問は考えない。

起立採決の結果賛成10、反対3により可決。



▲笑顔で対応 町民課窓口

行政改革実施計画を一月に報告

防災計画・ハザードマップは今年中に公開

図書館の詳細設計は今年度末に完成



わたなべ 渡邊 町長

▼行政改革は実施計画の策定作業並びに進行管理を行っています。1月に行政改革推進委員会に現状報告を行います。

町補助金の抜本的な見直しは、11月6日に委員7人による町補助金等評価調査委員会を開催し、補助事業の見直し、適正かつ効果的な交付の在り方について諮問し、今後は、補助金等交付基準及び評価基準の策定を検討し、3月に答申の予定です。

人事評価は課題の抽出とその改善策の検討を行っています。保育士・看護師・用務員については、25年度からの試行に対応する案を策定しています。

男女共同参画計画は、委員会の答申を受け、年度内の計画策定を行う予定です。

▼防災計画は、日本海側の地震・津波の見直しを行っており、防災計画とハザードマップは今年

度中に町民に公開していきたいと考えています。

▼「杉の子の家パン工房」は米粉パンの供給を10月から3こども園に開始しました。また、「杉の子の家パン販売所」の建築も終え、11月3日に「きずな」としてオープンし、パンの販売拡大に寄与しています。

▼地域活性化対策事業は5回目となる地域活性化対策券を11月18日より1次販売を実施しました。予約販売の申し込み金額は事業費2億円を超える結果となり、1世帯の上限を27万円として販売しました。申込世帯が1483世帯で全世帯の33・6%、1世帯当たりの平均は13万7000円でした。

▼図書館建設は今年度末に詳細設計が完成する予定となっております。去る12月1日に町民会館小ホールで、町民に新図書館建設の概要についての説明会を開催しました。

固定資産評価審査委員に

まる やま まさはる 圓山昌晴さん (新任)



圓山昌晴さん (蓮野)

平成24年12月19日をもって任期満了となる固定資産評価審査委員加藤重春氏の後任として、圓山昌晴氏を全会一致で同意しました。

圓山氏には、豊富な経験と知識を生かし、固定資産の適正な審査、評価の職務にあたることを期待します。

一口メモ

※ハザードマップとは？
地震・洪水などの自然災害による被害を予測して、想定される被害の種類・程度とその範囲を地図化したもの。

森林病害虫防除対策 事業予算を可決

一般会計補正予算

森林（保安林等）病害虫防除対策事業委託料

1518万円

衆議院議員選挙費用

1269万円（専決処分）

コンビニ収納システム改修業務委託料

271万円

下水道事業会計負担金

454万円

平成24年度一般会計補正予算は、まず衆議院議員選挙費用1269万円の専決処分を承認しました。

その後既定予算に歳入歳出予算それぞれ3253万円を追加し、総額77億3036万円とする補正予算を可決しました。

主なものは森林（保安林等）病害虫防除対策事業委託料1518万円、町税コンビニ収納システム改修業務委託料271万円、下水道事業会計負担金454万円などです。



▲守ろう緑を 基本管理徹底を



▲拡大されるコンビニ収納システム

主な質疑

松くい虫対策委員会を設置する考えは

五十嵐利栄議員 今年の松くい虫による被害は例年の2倍以上と深刻だ。伐採の助成を求めるところも大切だ。
新発田市、胎内市、新潟県とも連携して抜本的な対策委員会を設置する考えはないか。

対策の基本は県で行ってもらう

町長 今年の松くい虫大量発生は、天候不順や猛暑などで、マダラカミキリ虫が飛びやすい条件で被害が拡大した。新潟県は松くい虫に強い品種の開発・切り替えを行っている。県に向いて防除費用の助成も要請した。12月20日に阿賀北首長会を開くことにしたので、地域の課題として取り組む根本的対策は技術的にも難しく、県主導で行ってもらう。

開票時間は短く設定したか

五十嵐利栄議員 選挙費用での人件費について、従来に比べ開票時間を短く設定したか。
読み取り器購入分減らした
選挙管理委員会書記長 読み取り器を購入したので、開票に関わる人数を削減して設定した。

コンビニ収納システム利用者は

五十嵐利栄議員 町税のコンビニ収納システムを導入するが、先行して実施した軽自動車税のコンビニ利用者はどのくらいいるか。

23%の人が利用

税務財政課長 口座振替は2540人で、残りの直接納入者5028人中、コンビニ収納利用者は1166人で全体の23%である。

臨時職員採用の手順は

中村恵美子議員 学校教育課で、産休代替として臨時職員を採用しているが、採用の手順はどう行っている。

登録者優先している

総務課長 町には臨時職員登録制度があり、登録者を優先採用している。

DVDの内容は

資格などが必要な場合は、ハローワークで募集を行い採用している。

小学生なども分かりやすいDVD

東港振興室長 東港広報用DVDは、小学生や年配者にも分かりやすく、教育にも十分活用できるものを25年3月末までに作成する。できあがったDVDの再生時間は約20分程度。小学校1年生から6年生まで18本貸し出し、にぎわい館、図書館、振興室などにも保管し、合計30本作成する。



▲さらなる期待高まる東港

8 議員が質問

五十嵐 利 栄 議員 (10 ページ)

- 1 米の品質対策どう進める
- 2 東港地区の活性化を

宮 沢 光 子 議員 (11 ページ)

- 1 防災意識のさらなる啓発を
- 2 どうなっている防災教育
- 3 12年カリキュラムの公表は

渡 辺 利 道 議員 (12 ページ)

- 1 予算編成の基本方針は
- 2 活用せよ小規模工事登録制度
- 3 工事の予定価格は公表すべき

高 松 守 雄 議員 (13 ページ)

- 1 東港の防災と整備構想は
- 2 小規模特養施設の整備はどうなった

中 村 恵 美 子 議員 (14 ページ)

- 1 消費税増税は打撃だ
- 2 一部負担金をなくせ
- 3 就学援助受けやすく

小 川 益 一 郎 議員 (15 ページ)

- 1 塩漬けの土地を活用せよ
- 2 課税誤り過年分も還付せよ

田 中 智 之 議員 (16 ページ)

- 1 ゴミのポイ捨て罰則強化を
- 2 学力地盤沈下どうくい止める

青 木 順 議員 (17 ページ)

- 1 どう取り組む企業誘致
- 2 プール再開できないか

ズバリ 直言

町政を問う 一般質問

次回の定例会は、
3月5日(火)開催予定です。

読者の声



田中 由子さん
(蓮野)

議会がしっかり目を 光らせていただきたい

Q 聖籠町の印象はいかがですか。

田中 聖籠町は東北電力などの大企業が立地し、財源が豊富だと思えます。そのためか、ほかの町より子育ての環境がよいと感じています。

ただ、聖籠中学校は校則が少なく自由すぎるため、高校に入ると校則の厳しさに戸惑う子どもがいるようです。
Q 議会を傍聴したことはありますか。

田中 議会のようにする

知りたいと思いますが、議場は敷居が高い気がしています。

田中 聖籠町は東北電力などで、傍聴したことはありません。ただ、今回からラジオで放送すると聞いて、家にラジオがなかったのので車のラジオで本会議の一般質問を聞きまして。今度、ラジオを買おうと思っています。

ラジオ放送は手軽に議会での論戦のようすを知ることができて、よいことだと思います。それと、議員の質問要旨を図書館などで配布しているそう

ですが、もっと配布場所を増やしていただけると、より多くの町民がラジオを聞いてくれるのではないのでしょうか。
Q 議会に期待することはありますか。

田中 町が行っていることは、私たちには分からないことがたくさんあります。対応がよくなってきたといえ、役場は融通が利かないことも多いと感じますので、事業の進め方や事務事業の見直し、窓口対応などで、議会がしっかり目を光らせていただきたいと思っています。

Q 議会だよりについて要望はありますか。
田中 興味のあるところを拾い読みするほうなので、これからも読みやすい紙面づくりをお願いします。

みなさんの 請願・陳情

第4回定例会では、地域住民より直接の声となる陳情1件が審査され、全会一致で採択されました。

採択した陳情

◎蓮潟居浦山地区道路環境整備陳情書

〔提出者 蓮潟区長 森田春雄〕





宮沢 光子 議員

問 9月1日、防災の日に毎年行われている聖籠町まちなか防災訓練とともに新潟県総合防災訓練が実施された。

大規模な県の防災訓練であったが、町民への情報が一っつであったため、町民の大半は観覧しているものかどうかを迷った。

災害時における貴重な訓練などもあり、大勢の町民に観覧してもらいたかった。残念であった。

新潟県地域防災計画の見直しの中で、自主防災組織の位置づけが明確化

された。

通常の防災訓練だけでなく、町の行事などに県の防災訓練で展示した地震体験車などを導入したり、アイデアを出し、防災意識の啓発を行うことが防災体制の強化につながる。

町長 県の訓練は3会場で各種訓練が行われた。実働を重視した訓練だったため、住民へのアピール度が低下した感は否めなかった。

今後、町の防災訓練として、津波に対する避難



▲津波に備えて防災訓練

問 町の幼・小・中12年カリキュラム編成委員会は、学校関係者などで議論が進められたと聞く。

今後、この12年カリキュラムをどのようにに保護者などに示していくのか。目に見える学力だけでなく、目に見えない学力を上げる幼児教育・家庭の教育力にも視点をあてることが必要である。

教育長 学年や年齢ごとの学習計画を進めている。保護者の理解を求め、来年度に各学校・園で説明し資料を配布する。

12年カリキュラムの公表は 来年度に各学校・園で説明

どうなっている防災教育

教育長 町の防災計画と整合

問 新潟県地域防災計画の中に防災教育計画が載っている。

東日本大震災以降、学校教育の中で防災教育が一段と注目されている。

町の「社会教育」「学校教育」における防災教育の実態はどうなっているか。

教育長 昨年度、生涯学習計画を策定したが、今後、東日本大震災を教訓とする地域での危機管理対策などの学習を考えている。

各学校における防災教育の充実は、町の防災計画との整合を図りたい。

防災意識のさらなる啓発を 町長 自治防災リーダーを育成

の在り方やコンビナートの大規模災害時の避難の在り方など多様な訓練を提案したい。

訓練は、集落の自治防災リーダー研修を兼ねている。今後、リーダーの資質向上を期待している。

米の品質対策どう進める

町長 関係者と早急に検討

問 今年の米の品質は昨年比去年大きく低下した。聖籠町の1等米比率も県平均を大きく下回り、品質改善が急務だ。

聖籠町の1等米中、約4.3%は、3等米と想定される「カメ虫被害粒」を色彩選別機にかけて昇格させた。この対応で農家は106万円の経費を使った。カメ虫粒の発生は米づくりに関わっている人たちの連帯責任でもある。町で経費の一部を助成する考えはないか。

次に地産地消について質問する。

(1)国が30%以上の目標を設定している、学校給食の野菜・果物の使用実態。

(2)アルビレックスやジャパンサッカーカレッジで使われる食材に、地場産

優先の協力を得られるか。

(3)2年前に地元米の米粉米拡販のため開発された、カレーとシチューの事業はどうなったか。

(4)米粉パンをこども園に供給できるようにした小学校、中学校への供給の基本計画をどう具体化するか。

(5)ざぶーん食堂で「岩船産米を使っている」と表示されている。聖籠町産米の価値が問われる。

町長 品質改善策は、県・農協・共済組合など、関係機関と連携して今後の対策構築に取り組む。

色彩選別機使用による1等米比率アップの助成は、公平感から難しい。色彩選別機購入の助成要請が農業法人からきている。振興策として検討する。

教育長 (1)23年度学校給食への町内産使用率は25.6%、24年度は低下見込み。

町長 (2)アルビレックスやジャパンサッカーカレッジの地場産利用につ



五十嵐利栄議員

東港地区の活性化を

町長 実態を調査検討する

問 東港地区の公共アクセスは皆無に等しい。約7000人働いている人たちから公共アクセスの要望がある。一方東港の一部地域で防犯上、街灯の設置を望んでいる。対応する考えはないか。

町長 東港聖籠地区立地企業連絡協議会で問題点を提起してもらい、公共アクセスの必要性を把握したい。防犯灯は具体的場所の提起もあったので実態を調査把握する。



▲地産地消ですくすく育て



高松 守雄議員

問 東日本大震災の教訓を生かすべく、現在検討している津波対策を含めた防災計画案の見直し事項の現状は。

①県の津波被害想定見直しで、参考地震では町の海岸部で6メートル、東港の内陸部は7メートルと新たな発表があった。杉谷内、藤寄、旭ヶ丘周辺が浸水の可能性が高い。避難場所・経路は防災計画に盛りこんでいるか。

②大規模避難所の運営マニュアルの作成や備蓄倉庫の整備は。

③石油コンビナートなど防災計画における東港石油タンク設置場所の液状化現象の耐震は。

④国・県にエネルギー基地、拠点港としての危機感。

町長 ①東港地区の津波対策はハザードマップの公表により、浸水予想地域では説明会を開催し、避難経路・場所の確認などを行う。東港の高さのある建物も避難先として指定させてもらう予定。

②運営マニュアルは、必要性を痛感している。環

境整備として策定する。備蓄倉庫も必要性を感じ方向づけしている。今後計画的に整備していく。

③東港の石油タンク設置場所は、公有水面の埋立地。土壌改良などを実施し、タンクの安全性は技術的に一応確保されている。

④国内のエネルギー政策、首都圏直下型地震などが発生する可能性が指摘されている。日本海側に拠点性を求めリスクを分散していく可能性を視野に入れ、県知事とアクションを起こしていく。

エネルギー関連基地構想の中に整備を促進させながら、町としての産業の集積を図っていく。

東港の防災と整備構想は 町長 知事とタイアップして

予算編成の基本方針は

町長 健全な経営体制を堅持



渡辺 利道議員

問 町の借金は一般会計で30億4千万円、特別会計を含めると112億1千万円にもなる。豊かな町とはいえ、予算編成に当たっては無駄を省き、選択と集中で進める必要がある。新年度予算編成の考えを伺う。

(1) 農業施策について特に重点的に取り組む施策。

(2) 経済対策として、地域活性化対策のほかに活性化対策は。

(3) 安心安全確保のため、地域防災計画見直しの進展状況と防災備蓄計画は。

町長 町の長期総合計画との整合を取りながら、財政的な長期見通しに立って、健全な財政運営に努めていきたい。

(1) 農業の重点施策では、

持続的な農業振興を図るため、農業者の確保、担い手農家の育成強化、生産基盤の整備、6次産業化を進める。

(2) 経済対策では、地域活性化対策の発行を検討。住宅リフォーム助成は、個人の財産形成に公金を使うため政策になじまないとの考えは変わらない。しかし、地域の建設関連全体に対する波及効果を考え、県の例を参考に検討していきたい。

(3) 防災計画の見直しでは、町の見直しを踏まえ、町の計画の見直しを進め、3月に町防災会議の承認を得て運用を行いたい。防災備蓄は水、食料、衣料などの備蓄を検討している。

活用せよ小規模工事登録制度

町長 予算編成の段階から対応を指示

問 町内の零細業者活用のため小規模工事等契約希望登録制度がある。23年度は213件中9件しかこの制度の適用がない。(1)町長がリーダーシップを発揮して担当課長に指示すべきでないか。(2)登録業者を増やす手段を考えないか。

町長 (1)制度の趣旨を踏まえ、各課長に予算編成の段階から活用を指示した。

(2)町広報1月号に制度の紹介をするとともに、関係団体を通じて呼びかけたい。



▲積極的に情報公開を

工事の予定価格は公表すべき

町長 事後公表を検討

問 町では予定価格を公表していない。

(1) 工事の透明性確保のため、予定価格は公表すべきでないか。

(2) 一般競争入札の適用範囲を広げ、受注機会の拡大を図る考えはないか。

町長 (1) 予定価格の公表は、事後公表を検討する。

(2) 一般競争の適用範囲を広げることは、町内業者への配慮のため見直す考えはない。

その他の質問

問 コミ出しルールの徹底をすべきでないか。

町長 収集カレンダーや冊子の配布により周知する。

小規模特養施設の整備はどうなった

町長 県の予算に要請

問 当初計画では、小規模特養老人ホームを整備し、さらなる施設サービスの充実を図っていたが、どうなったか。現在の町特養の待機者は何人か。

町長 現在の特養待機者は124人、特に特養を必要としている待機者は20人前後。さらなる施設を整備し充実を図るため、県に対し特養70床、特養併設ショートステイ40床。

および、地域密着型サービスの小規模多機能型居宅介護事業所1カ所を平成25年度県補助金要望施設として要請している。



▲目指せコンビナートの防災対策



小川益一郎議員

問 町有地の未利用土地のうち500平方メートル以上のものが5万5642平方メートルある。大変な資金を投与して求めた土地である。この利用をどのように考えているか。

平成20年、次第浜地内加治川右岸に海浜公園整備用地として、7601平方メートルを債務負担行為により、下越土地開発公社経由で3199万円で取得した。

(1)これらの土地を今後どのように活用する。
(2)この土地の入口部分774平方メートルは未利用に含まれていないがなぜか。
(3)この774平方メートルの土地は町が取得する同時期に、旧所有者があえて分割し町に寄付をしている。その理由は。
(4)当該地は白砂青松の地とし聖籠町海浜公園整備事業としているが、国道113号線から加治川河口へ向けて500メートルも入らなければならない。整備するには莫大な資金を要する。
(5)当該地の近辺には県立紫雲寺公園や県立愛鳥センター、温泉施設などが完備されている。どう整合をとるか。

町長 海浜公園として対応

塩漬けの土地を活用せよ

町長 (1)海浜総合計画に基づいて将来に対応したい。この地域一帯がさまざまな植物の群生地となっており、自然空間、緑地空間を活用していきたい。
(2)チェック不足で記載漏れとなった。今後十分注意するよう指示した。
(3)当時不法投棄埋設物の疑いがある区域のため、不可解の土地は買う訳にいかず買取拒否していた。しかし地権者から廃棄物が出た場合の処分経費について協議すると

課税誤り過年分も還付せよ

町長 異議申し立ては単年度のみ

問 固定資産の課税誤りを固定資産評価審査委員会が認め、町は修正して24年分を還付したのに、過年度は認めないのはおかしいのではないか。
人数とか金額の多少でなく、行政は公平・公正であるべきだ。

町長 町はやむなく法の趣旨に基づいて審査委員会が決定したことに対し価格の修正をした24年度分のみ還付した。さかのぼって還付する法的根拠がない。

その他の質問
問 聖籠ワインなぜ消えた
町長 継続するよう努力する。
問 育英資金貸与制度の改訂を
教育長 医学生の特例枠など検討する。



▲未利用土地の利用促進を

このことから寄附採納とした。
(4)海浜公園整備事業は将来計画としてビジョン化されて整備していくのは相当長期になる。
(5)海岸植物の保護や自然環境の保全など具体的施設の検討もきたとき、経済状況を見極め推進を図りたいと現状では考える。



中村恵美子議員

消費税増税は打撃だ

町長 町村会を代表し意見

問 12月16日投票の衆議院議員選挙後の動向によっては、消費税増税となれば住民の暮らしと経済に、大打撃を与えることとなる。
全国で5%の税率引き上げになることに加え、大多数の自治体として許してはいけないのではないか。
領土問題は、尖閣問題に日中の経済関係が冷えこむ中で、暮らしと生活に直結する、より深刻な問題に進展している。地域経済の問題として、どう考えているか。

町長 子どもの医療費の一部負担金、入院1日1200円、通院530円を無料化している自治体は現在では78%にもなっている。
本町も一部負担金をなくすべきでないか。

一部負担金をなくせ

町長 応分の負担は必要

町長 子どもの医療費助成は、すべて無料化ではなく、応分の負担を求めなくては必要と考える。



▲医療費負担の軽減を

就学援助受けやすく

教育長 気持は同じ

問 若い世代、子育て世代の貧困化が進んでいる。就学援助を必要とする人たちが増えている実情を踏まえて、対象となるすべての世帯がきちんと就学援助を受けられるように周知徹底すべきでないか。
2010年度から、新たにクラブ活動費、生徒会費、PTA会費が加わるようになった。本町も追加すべきでないか。
教育長 就学援助は、広報紙、小・中学校を通じて各家庭に配布し周知している。
所得金額の明示は検討したい。
追加項目については、入れることができるか検討したい。



日本一の昭和町を視察

山梨県昭和町議会を視察調査

議会広報

11月9日、平成23年度議会広報コンクール全国最優秀賞を受賞した山梨県昭和町議会を視察した。

昭和町の議会広報は、昭和49年5月に創刊した歴史のある広報である。

- 1 表紙はぱっと見たとき興味を持つように。
- 2 記事は重要な記事をトップに入れる。
- 3 見出しが良ければ記事は読まれる。「〜」

「〜」は見出しではない。など8項目にわたってチェックしている。編集に関する基本事項や編集方針も明確化されていた。

実際の議会だよりは見開きページの活用が素晴らしく、さすが日本一に輝いた広報紙であり、当議会広報紙の今後の作成において学ぶことが多い視察であった。

ラジオで生放送しています



一般質問を
エフエムしばた(76.9メガヘルツ)
で放送しています。



「稲村の火」の地で防災教育を学ぶ

防災・教育の先進地を視察調査

総務文教

10月24日・25日、和歌山県広川町、大阪市立聖和小学校の視察調査を行った。

和歌山県広川町は防災教育の先進地である。安政元年南海大地震の「稲村の火」で知られる。濱口梧陵が大量の藁に火をつけ、津波による2次災害から多くの村人を救ったことが今なお語り継がれ、防災教育に生かされている。24年度一般会計の6・2%を消防費が占めている。

大阪市立聖和小学校は、「こどもの意欲を引き出す教育」を実践している。「学校が楽しく、全員が出席している学校」を目標として、子どもたちの生きる力をより一層育むことを目指している。「止まって目を見てあいさつ」という分離礼や地域とタイアップしたユニークなあいさつ運動も展開している。

本町にとっても学ぶべき点が多い有意義な視察であった。

こんなことを

研修

報告

10月18日・19日、福岡県博多港と山口県下関港を視察調査した。

平成5年4月に資本金7億円で博多港ふ頭株式会社を設立。福岡市51%、港運17社40・85%、地場銀行2社8・15%の出資比率による第3セクターとして誕生した。国際海上コンテナ貨物量は約85万TEUであり、平成23年には日本海側拠点港に選定された。

下関港は西日本有数の港物流拠点としての役割を担い、港湾機能の強化が図られている。

本町は、新潟港コンテナターミナルの出資団体の一つであるが、自治体の規模、港との関わり、歴史も両市と大きく異なるものの、港背後地としての位置は等しい。

今後の町づくりに両市の先進的な取り組みから学んだことを生かしていきたい。

先進港湾を調査

博多港・下関港を視察調査

厚生産業



☆ FM放送開始

12月議会定例会から、本会議での一般質問のようすを「エフエムしばた」で生放送しています。

これは町民の皆さまに、常日頃あまりなじみのない本会議での議論や議員の活動をもっと知っていただくことで、私たち議員が目指す「より開かれた議会」に近づけたいと考え開始したものです。

議会に興味はあるが、都合で議場には行けない方もいます。

ぜひこれを機会にFM放送に耳を傾けていただき、ご意見、ご要望などをお気軽に私たち議員にお寄せいただければ、と思っております。

なお、一般質問の内容を記載した通告一覧は役場総合案内、町民会館、図書館、保健福祉センターおよび診療所に事前に設置しますのでご覧ください。



次回の定例会は、

3月5日開催の予定です。

議会広報対策特別委員会

議長	須貝 龍夫
委員長	五十嵐 利栄
副委員長	渡辺 利道
委員	堀 常正
	田村 富美男
	田中 智之
	青木 順

みんな

の

ページ

聖籠町に嫁いで来たお嫁さん

3世代元気になっていることが自慢です



あかぎ めぐみ さん
赤木 めぐ美 (桃山)

Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？

友人の紹介で知り合いました。

Q 聖籠町に嫁いできてどんなイメージを持ちましたか？

たくさんのお菓子がとれたり、おいしいお米が食べられるととてもどかな所だと思います。

Q 町での生活はどうですか(楽しい新婚生活のエピソードもあったらお聞かせ下さい)

家族やまわりの方に支えてもらいながら、毎日元気に過ごすことができ感謝しています。うちは3世代元気になっていることが自慢です!!

Q 町に望むことはありますか

住みやすい町であってほしいです。

今回は愛知県出身で平成24年5月に嫁いで来た赤木 めぐ美(旧姓 船山)さんです。

皆さんよろしく申し上げます。

皆さんもみんなのページ「聖籠町に嫁いで来たお嫁さん」に出てみませんか。

対象者は町外から嫁いできたお嫁さんです。自薦・他薦は問いませんので、お気軽に役場議会事務局(Tel. 0254-27-1967)までご連絡下さい。

編集後記

昨年の12月に、衆議院の選挙が行われた。地元新潟は自民党が勝利した。

しかしながら、投票率を見てみると戦後最低であった。いかに今、政治に期待できないという世の声が強いかうかがえる。前回の私たちの町議会議員選挙も過去最低であったことを思い出す。

聖籠町議会でも、一般質問のFM放送が始まった。少しでも多くの町民に議会を身近に感じていただき、町政発展の契機になるよう強く願う。

議会広報対策特別委員会
委員 青木 順